

27 年度事業計画及び予算書

特定非営利活動法人地球の楽好

1 事業の目的

子ども達の健全育成に係る事業として東日本大震災による子ども達のケアとして宮城県・福島県内の幼稚園・保育園へ絵本バスを運行し読み聞かせなどを行うとともに一人一冊程度贈呈。そのために全国に働きかけ活動に係る費用及び絵本の寄贈を働きかける「ブックドライブ」活動を実施。

また、被災地在住の未就学児、小学生の子どもと保護者を対象に週に3~4回、居場所や情報交換、日本の伝統文化や地域文化の伝承ワークショップなどを行うサロンを開催（ワークショップ開催以外の時間などは、フリースペースとして開放）。震災後、様々な団体がサロンなどを開催していたが、サークル会員のみの閉ざされたコミュニティの場となっているものが多く、間口を広げ誰もが足を運べる場所として運営する。特に孤立しやすい未就学児と学童児の保護者に対して、ティーブレイクの様相の中で正しい情報の交換、悩みのシェア、親子で行うワークショップなどを通じ心の負担や不安の解消を図る。時にはカウンセラーや専門機関と協業で情緒の安定化と心のケアをも行う。そのことにより、母親たちのコミュニティの再形成及び情報交換の場を提供することによる子育てに関する不安の解消、正しい知識の涵養、及びストレスの軽減を図る。

昨年に引き続き、未就学児親子の森林体験を4回実施。

また、福島県内の保育施設などにおいて子ども達の神経系の発達促進のためのプログラムを実施

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	予算額(千円)
子どもの健全育成を図る活動	絵本バス訪問(読み聞かせ)	毎週3回	幼稚園・保育園	15人	3000人	15000千円
	つながる子育てサロン開催	毎週5回	福島市天神町	15人	のべ2400人	3500千円
	森林体験	7月、8月、9月、10月	宮城県利府町他	12人	のべ230人	1500千円
	カラダの楽好	週2~3回程度	福島県内	10人	のべ2000人	15000千円

